

評価委員会コメント（案）

番号	事業番号	評価の視点	コメント（案）	検証
①	16	【着実】	FDへの取組については、教員の参加率が高く、幅広いテーマで数多く実施されており、教員の教育能力の開発及び学部学科コースの組織力向上に向けた効果的な取り組みとして評価できる。	
②	22	「着実」	英語英米文学科の英語運用能力育成プログラムについて、昨年度の課題であった英語運用能力の4年間の向上率の測定方法を決定した。また、学生の運用能力向上を目的とし、学生に「自己分析・自己評価表」を作成させたほか、各年次において教員による個別指導を実施する等、英語運用能力の向上に向けた取組が進められたことは、評価できる。	
③	28	【顕著】	（コメントは原案と同様）	
④	48	《課題》	事務職員の資質向上を図るため、SD研修を実施しているが、アンケート等による研修結果の検証の有無が不明である。今後、アンケート等による研修結果の検証が適切に行われることが望まれる。	B